

なんケア通信

第12回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成29年12月12日（火）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：53名（地域包括支援センター 3名、介護事業所関係者 28名、
医療関係者 1名、調剤薬局 1名、一般参加 3名、御野場病院職員 17名）

メインテーマ：在宅看取りを支える

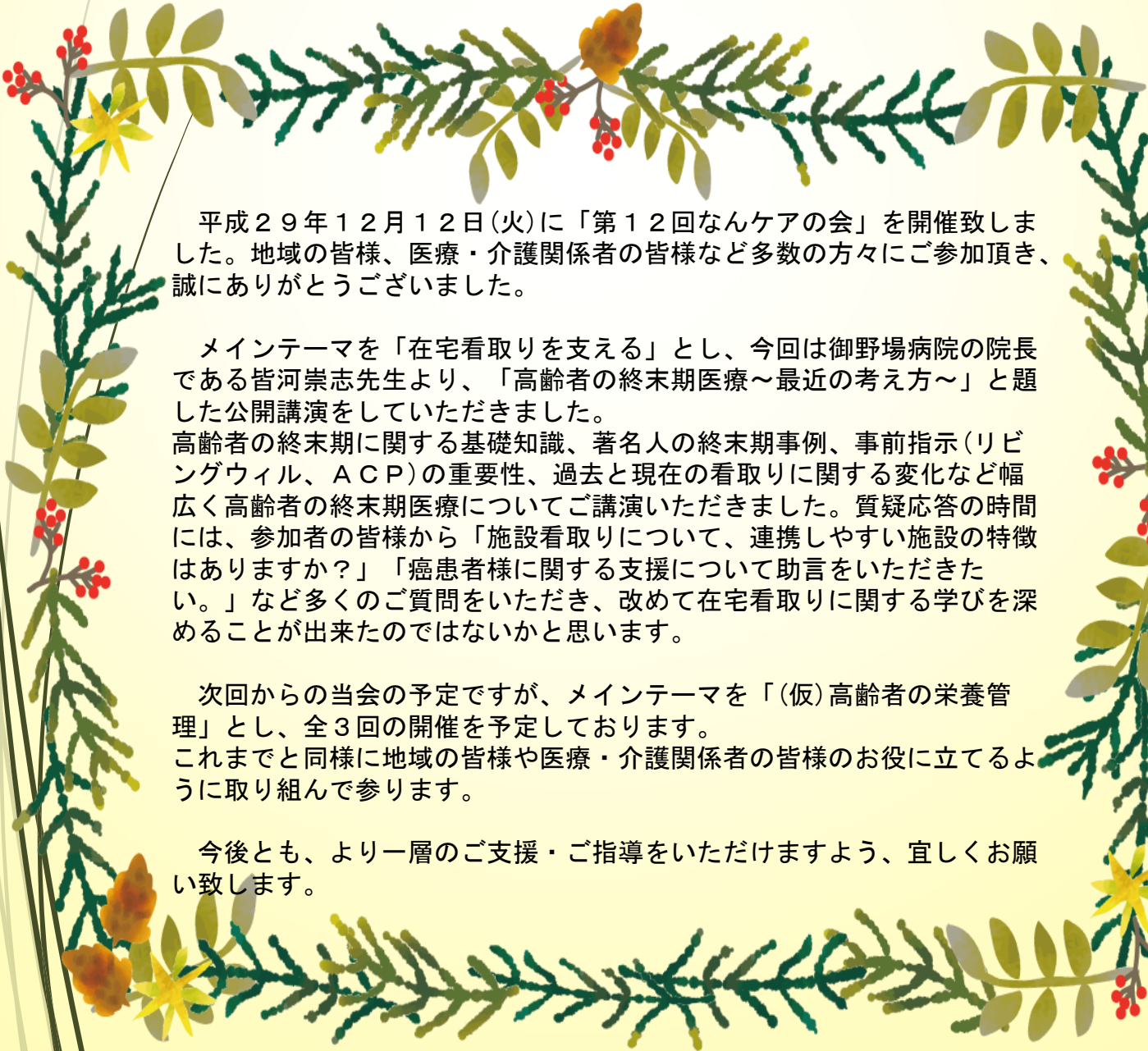
～幸せな人生の最期を迎えるための支援～



演 題

『高齢者の終末期医療 — 最近の考え方 —』

御野場病院 院長 皆河 崇志 様



平成29年12月12日(火)に「第12回なんケアの会」を開催致しました。地域の皆様、医療・介護関係者の皆様など多数の方々にご参加頂き、誠にありがとうございました。

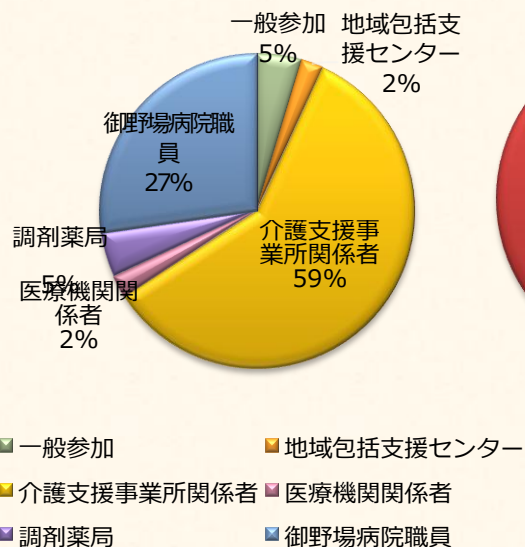
メインテーマを「在宅看取りを支える」とし、今回は御野場病院の院長である皆河崇志先生より、「高齢者の終末期医療～最近の考え方～」と題した公開講演をしていただきました。
高齢者の終末期に関する基礎知識、著名人の終末期事例、事前指示（リビングウィル、ACP）の重要性、過去と現在の看取りに関する変化など幅広く高齢者の終末期医療についてご講演いただきました。質疑応答の時間には、参加者の皆様から「施設看取りについて、連携しやすい施設の特徴はありますか？」「癌患者様に関する支援について助言をいただきたい。」など多くのご質問をいただき、改めて在宅看取りに関する学びを深めることが出来たのではないかと思います。

次回からの当会の予定ですが、メインテーマを「(仮)高齢者の栄養管理」とし、全3回の開催を予定しております。
これまでと同様に地域の皆様や医療・介護関係者の皆様のお役に立てるように取り組んで参ります。

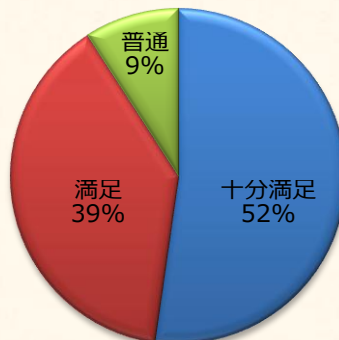
今後とも、より一層のご支援・ご指導をいただけますよう、宜しくお願い致します。

アンケートの 集計結果

参加者



講演会に参加して いかがでしたか？



講演会の内容を十分に 理解できましたか？



回収率： 83.0%（アンケート配布：53名、回収：44名）



会場の様子



皆様からの ご意見・ご感想



・知識の向上につながりました。
ありがとうございます。GHの利用者の最期について、今一度考えていきたいです。

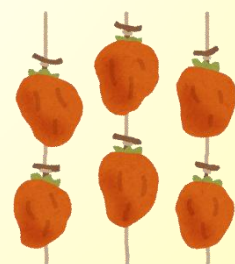
介護支援事業所関係者

終末期について、色々なお話を聞くことが出来、ためになりました。最近では少しずつ、ご家族さんの希望が在宅に向いてきている様な気がしています。

介護支援事業所関係者

在宅での看取りが一般の方に浸透していったほしいと思いました。

御野場病院職員



次回開催の お知らせ

開催日時：平成30年2月9日（金）18:00～19:15
会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

